

保護者様

大津市立真野小学校
校長 橋本 知典令和5年度全国学力・学習状況調査分析結果
「我が校の強み弱み分析・評価シート」について

平素は、本校教育活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本年度実施の全国学力・学習状況調査の分析結果を「我が校の強み弱み分析・評価シート」としてまとめましたのでお知らせいたします。

今後、結果を踏まえ、学力向上に向けて指導の改善、対策に取り組んでまいりますので、いっそうのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【令和5年度全国学力・学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立真野小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1. 真野小の児童の状況分析 《強み…○・弱み…■》

【国語】

- （知識及び技能）目的に応じて、必要な情報を整理したり、語句と語句を関連づけたりすることができているかをみる設問では、平均正答率が 64.8%であり、全国平均を 2.8%、県平均を 2.5%上回った。
- （思考力・判断力・表現力等）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる設問では、平均正答率 60.6%であり、全国平均を 4.4%、県平均を 6.1%上回った。
- （知識及び技能）当該学年までに配当されている漢字の書き取りや送り仮名に注意して漢字を文中で正しく使う設問において、平均正答率が 68.5%であり、全国平均を 4.3%、県平均を 2.6%下回った。
- （思考力・判断力・表現力等）インタビューの様子から、目的や意図に応じて話の内容を捉え、他の考えと比較しながら自分の考えをまとめる設問において、平均正答率が 57.7%であり、全国平均を 12.5%、県平均を 9.5%下回った。

【算数】

- （数と計算）加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする設問において、平均正答率が 84.5%であり、全国平均を 12.1%、県平均を 15.5%上回った。また、図を基に商の意味を考える設問、示された表から必要な数を読み取ることができるかをみる設問においても全国、県平均を上回った。
- （変化と関係）百分率で表された割合についての設問における正答率が 53.5%であり、全国平均を 8.5%、県平均を 8.1%上回った。
- （データの活用）示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する設問、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る設問において平均正答率が 69.4%であり、全国平均を 3.9%、県平均を 4.8%上回った。

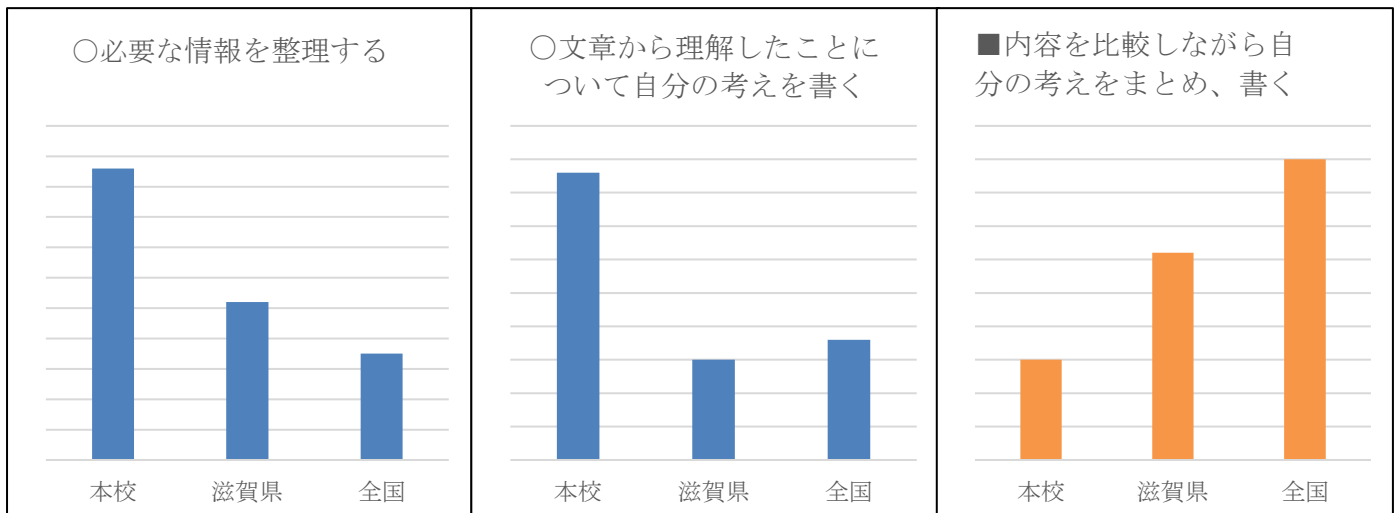
- **(数と計算)** () を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかみる設問において平均正答率が 64.8%であり、全国、県平均を 5%下回り、課題が見られる結果となった。
- **(図形)** 正三角形や正方形、台形等の意味や性質について理解し、活用する設問において平均正答率が 52.1%であり、全国平均 5.2%、県平均を 2.5%下回り、課題が見られる結果となった。
- **(変化と関係)** 伴って変わる二つの数量の関係について表から変化の特徴を読み取ったり、表の中の適切な数を使って記述したりする設問において、平均正答率が 87.3%であり、全国平均を 3.7%、県平均を 2.8%下回り、課題が見られる結果となった。

【児童質問紙】

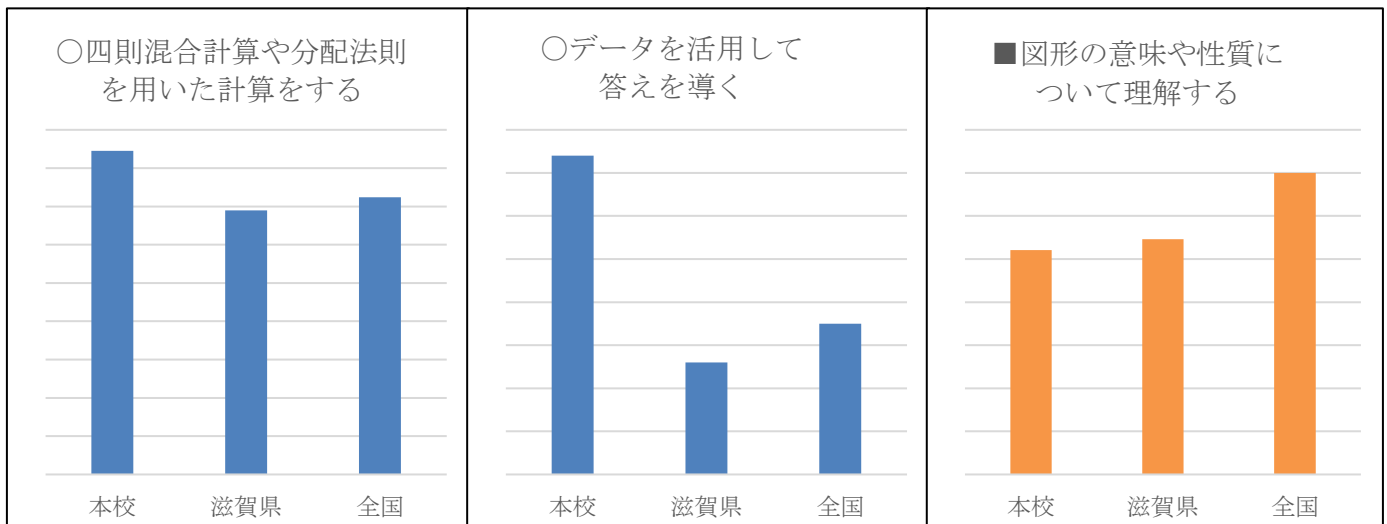
- 「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が多く、自分の将来に理想をもっている児童が多い。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、昨年度と比較すると増加しており、目標値を達成している。
- 「家で自分で計画をたてて勉強（予習や復習を含む）をしていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国、県と比較すると下回った。

2. 強み・弱みグラフ (*グラフは本校の平均正解率と全国及び県の平均正解率に基づいて作成しました。目盛りの規準は、学校ごとに異なるため、他校と比較できるものではありません。)

(1) 国語科



(2) 算数科



3. 指導の充実に向けて

- ◇学習の中で、友だちの考えと自分の考えの共通点や相違点を比較しながら、自分の考えをまとめて書く活動を取り入れる。また、日々の授業の中で、キーワードを使って自分の考えや学習のふりかえりを書くなど、条件に合わせて自分の考えをまとめ、記述する力を育てる。
- ◇真野っ子タイムを活用し、漢字学習や新出漢字を使った短作文の学習に取り組み、書くことへの抵抗を減らしていくとともに、漢字の定着を図る。
- ◇日常生活の中で、相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにし、尊敬語や謙譲語について理解できるように指導を行う。
- ◇算数の学習では、自分の考えや答えを導く手順を、図や表、文章で書き表す学習活動を行い、筋道を立てて考えることができるようにする。
- ◇学習課題に習熟したり、求め方を工夫したりすることができるように、反復学習を行い、基礎基本の定着を図る。
- ◇朝の会や帰りの会、学級会など様々な時間の中で「最後まで話す」「最後まで聞く」といった指導を行い、話す力・聞く力を伸ばしていく。その際には、相手に分かりやすく話す、相手の話を温かく聞くという視点を大切にする。
- ◇ガッテンプリント（県教育委員会作成の学習補充プリント）やeライブラリを活用する。